グリーンサークル22号

クローズアップ　内城葉子
活動団体を訪ねて　フレンドツリーサポーターズ（豊ヶ丘の杜/八ヶ岳「多摩市民の森」）
多摩市みどりのかわら版

～クローズアップ～

タンポポ地図

内城　葉子

タンポポの名前や形は花にあまり詳しくない人でも多くの方が知っていると思います。

多摩市でみられるタンポポにはカントウタンポポとセイヨウタンポポがあり、誰かが植えたのか、土に入っていたのか分かりませんがシロバナタンポポも時々見かけます。（本来は西日本、九州に分布する）昭和 61 年、5 月「多摩市植物友の会」と「パルテノン多摩」でタンポポ調査をし、「多摩市タンポポ地図」をつくりました。（出来上がったのは 63 年です）その方法は地図に 500m のメッシュを設定して、縦横の線が交差する地点の状況を調査していきました。その頃は多摩市だけでなく都内も近隣の市でも在来種はわずかで、圧倒的に外来のタンポポが占めていました。

その時の調査では連光寺や和田などの地区は在来種が外来種より多い場所もありました。掘り起こされて、まだ不安定な土地には外来種すらありませんで「タンポポなし」という報告でした。「タンポポ地図」の結びに「今後 10 年、20 年と時間が経過するに従い落ち着いてくるのでしょう。その時、在来種と外来種の分布状況がどのように変化しているか興味深いです。」となっていました。それから三十年、今は在来種が増えています。早春、3 月頃はカントウタンポポが多くみられ、やがてセイヨウタンポポの出番となり、あちこちで見かけるようになります。花びらの周りの「総苞」という部分が反り返っていればセイヨウ、反り返っていなければカントウです。植物たちは上手に咲く時期をずらし生き延び、増やしています。そして最近はその雑種が増えてきているようです。一見するとセイヨウのようですが、よくみると中間的な形態をしています。そのうち純粋なセイヨウタンポポが貴重種になってしまうかもしれませんね。

この時期「つばめ地図」も作られました。こちらは植物友の会の会員の有志や鳥に興味のある市民の協力で 61 年 62 年と 2 年間にわたり調査をしたところ巣を作っていることが確認できましたが、最近はあまり見なくなりました。今またこの地図を作ったら面白い結果になるでしょう。

調査をしている時は這いつくばったり、見上げたり、天気が悪くなったりカンカン照りだったりの中、なんでこんなこと・・・と思ったりもしましたが今読み直してみると「あ、皆いい仕事してきたな・・」とちょっと感激しています。継続も、きちんと記録を残すことも、とても大切なことだと感じています。

セイヨウタンポポ

内城 葉子
＜**プロフィール**＞1949 年東京生まれ。
1986 年国立科学博物館第 2 回植物画コンクール文部大臣奨励賞、1989 年世界らん展ボタニカルアート部門ブルーリボン賞、英国王立園芸協会ロンドン・フラワーショーGold Medal 受賞など
＜**所属**＞日本ボタニカルアート協会、日本植物画倶楽部、どんぐり山を守る会代表
＜**著書**＞「鏡の中-俳句と植物画」共著、2005 年新風舎。他、絵本や学習図鑑などに描画。

雑木林などの活動を通じ、実際の木々や草花に触れることが細部に及ぶ精密な描写となり、植物本来の温もりを感じられる作品が特徴です。

～活動団体を訪ねて～

豊ヶ丘の杜緑地

フレンドツリーサポーターズ（FTS）
代表　安永　尚志

豊ヶ丘の杜・緑地の概要

豊ヶ丘の杜は、貝取神社の南西に隣接し、豊ヶ丘二丁目の住宅地に囲まれた２ha ほどの照葉樹林の森です。この緑地は、１つの山を南北に挟む谷からなる地形で（高低差約 15m）、湧水池を持つなど変化に富み、また植生も豊かです。

約 40 種 430 本ほどの樹木のうち、シラカシ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラが７割を占め、ウワミズザクラ、オオナラも観られます。とりわけ、ご神木と称している８本株立ちのヤマザクラ（推定樹齢 80 年）は姿形が素晴らしく、お花見の穴場かも知れません。モウソウダケとマダケの竹林があり、タケノコ掘りが楽しめますが、最近乱掘続きで衰弱気味となってきました。

林床や谷間は、四季折々の野草が豊富で楽しませてくれます。タマノカンアオイ、ジュウニヒトエ、キンラン、ギンラン、タツナミソウ、オカトラノオ、センブリ、カシワバハグマ、ナンバンキセル、アキノタムラソウなど。カブトムシやクワガタムシも樹液に群がります。コガラ、コゲラなどの小鳥も多く、歌声の競演を楽しめます。

湧水池「コウノ池」は、多摩市には珍しい自然の湧水で、サワガニ、ヤゴ、カワニナ、ヒキガエルなどが生息しています。

活動の経緯

2007 年９月に、多摩市と協定を結び、豊ケ丘の杜の緑地管理が始まりました。当初、森は手付かずの状態で、高低木で鬱蒼と覆われササやススキが密生し、暗く荒れていました。10 年の活動で、陽当たりの良い明るい森に変り、林床に野草も多く繁茂してきました。

フレンドツリーサポーターズ（FTS）の発足は、2006 年に遡ります。八ケ岳「多摩市民の森」フレンドツリーのカラ松間伐作業が発端です。八ヶ岳作業は雪のない夏期の活動のため、年間を通じて継続的に活動を維持するために、豊ヶ丘の杜の活動を始めました。

2011 年４月から、東永山複合施設（旧東永山小学校）の東側法面 1,500 ㎡の管理作業も行っています。植栽から約 30 年を超え大きくなったウメとマツの剪定作業です。

今年で丸 10 年を迎えました。現在、この間の活動を振り返り今後の活動の指針とすべく 10 周年記念誌を準備中です。

活動の目標（市民と一緒に）

近隣の市民と共に、誰もが楽しめる潤いある自然環境を育成するという目標を立てています。春にはヤマザクラを愛でる花見会の開催や見学会を行います。すぐ近くの豊ヶ丘小学校と「子供たちと共に水と緑の豊かな杜を育む」活動を共に進めています。子供たちが手書きした「ゴミ捨て禁止」ポスターを竹垣に掲示したところ、ゴミがほとんど捨てられなくなりました。

活動の内容

年初の総会で、前年度活動を総括し、当年度の活動計画を定めます。主な活動として湧水の環境整備や動植物の生態調査、それに伴う樹木の育成や林床管理に励んでいます。

ヤマザクラ（豊ヶ丘の杜ご神木）

子供たちの大好きな沢ガニ

タツナミソウ

会員募集中（いつでも）
どなたでも可（出来れば、森木会初級講座終了以上の技量を持つ方）
会費年間 1,000 円
活動日　原則毎月第 1、3（土）補完作業として平日第 2、4（金）
連絡先　安永尚志（yasunagahisashi@gmail.com）

～活動団体を訪ねて～

八ヶ岳「多摩市民の森」カラマツ間伐活動

フレンドツリーサポーターズ（FTS）
代表　安永　尚志

八ヶ岳活動の概要

多摩市民の森（フレンドツリーと呼ぶ）は、長野県富士見町の八ヶ岳山麓にあり、多摩市の小学校６年生を対象とした体験学習の場として、林野庁南信森林管理署と多摩市が協定し、カラマツの間伐を行う場所です。国有林の森「遊々の森※」の１つです。

この森は、八ヶ岳西岳山麓の標高約 1,450m に位置し、50 年程前の東京オリンピックの頃に、一斉に植林されたカラマツ人工林です。およそ 19ha の森は、3 つの目標を持ったエリアに分けられています。「体験の森」は小学生の林業体験の場、「憩いの森」は市民の憩いの場、「自然観察の森」はフレンドツリーサポーターズ（FTS）の活動の場所で、カラマツの間伐作業を行います。毎年、最終活動日に南信森林管理署と現地調査し、連続して 100m×50m 程の長方形エリアを次の活動の場として定めます。

植林されたまま、手が加えられず暗い荒れた森林のカラマツ（アカマツや広葉樹も混じる）を、30%程度間伐することを目標としています。

作業は、年間５回、５月より 10 月（8 月は除く）の第３土日に、多摩市少年自然の家に一泊し、１回平均 50 本ほどの間伐を行います。

10 年に及ぶ活動で、陽差し豊かな明るい森となり、樹木が活き活きとしてきました。様々な山野草、高山植物も増え、多くの小鳥、カッコウなども聞こえ、ハルゼミは五月うるさいほど。また、アサギマダラもアキノタムラソウに乱舞し、時にシカやヤマネも見かけることも。

活動の経緯と内容

2006 年８月、フレンドツリーサポーターズ（FTS）は、多摩市民の森すなわちフレンドツリーをサポートする森林活動ボランティアとしてスタートしました。今年で 10 周年を迎えました。サポーターズは、子供たちの間伐したカラマツの集積と整理などを、サポートすることも含めています。毎年の活動のパターンを紹介します。

初回（5 月）、活動拠点となる場所と作業路を作ります。

作業は、6～8 人で１作業班を構成し（2,3 班）、選定、間伐、枝落とし、玉切り、運び出し、集積の流れで行います。間伐すべきカラマツは、倒木、枯損木、不整形木、劣勢木を中心に、樹間と周辺環境を考慮し、倒す方向を慎重に決めます。混みいっているので、掛り木になることも多く、安全に最大限注意しています。間伐したカラマツは、1.6m に玉切りし、一時集積します。

最終回（10月）は、恒例の南信森林管理署主催による「木質バイオマスエネルギーの利用拡大に向けたボランティア活動」と銘打った、多摩市、富士見町、森林組合、少年自然の家、それと我々FTSとの協働作業（およそ40名）を行います。森林組合が目指す「循環型社会」の一環のイベントです。

全員総掛かりで、小学生の間伐した材と我々の一時集積した材を、林道まで搬出し、森林組合のトラック数台に積み込み、高遠市の上伊那森林組合のペレット加工工場に運び出します。地元のペレットストーブに利用されます。

その量は小学生が間伐したものと合わせ約 20 トンになります。

参考に、2015 年は 10 日（5 回）作業、作業時間は雨天もあり実働 18.5 時間。間伐は、合計 131 本、材積 29.44 m³。多摩グリーンボランティア森木会の３名のゲストが、延べ 14 人日参加・協力されました。

<注>　※　遊々の森

林野庁が全国の国有林の中に、一般人の立ち入りを奨励する遊々の森構想を立ち上げ、それに適した森を指定しています。学校などと森林管理署長などが協定を結ぶことにより、さまざまな体験活動や学習活動を行うフィールドとして、国有林を継続的に利用できるようにする制度です。学校教育における「総合的な学習の時間」などで、森林の利用を通じた子供たちの人格形成や、幅広い知識の習得を行う森林環境教育の場として利用していただけます。（林野庁ホームページより抜粋）

エゾハルゼミ

伐倒、枝落とし、玉切り

基地で一休み

多摩市みどりのかわら版

平成 28 年 3 月をもって環境部から異動、退職された方々です

みどりの価値

多摩市　環境部長　浦野　卓男

環境部長として３年間お世話になりました。４月から企画政策部長に就任いたしました。この３年間に「みどりのルネッサンス」をスタートすることができました。多くの機能と価値を持つ「みどり」は、人とみどり、人と人、地域コミュニティといったものをつなぐというすごい価値を秘めています。今後もグリーンボランティアとして、みどりと関わっていきますので、みなさん！ぜひ、つながっていきましょう！ありがとうございました。(現、企画政策部長)

みどりと音楽のハーモニーを！

グリーンライブセンター　伊藤　英行

みなさん　こんにちは。グリーンライブセンターの職員の伊藤です。

平成２６年４月から２年間、グリーンライブセンターでお世話になりましたが、この３月で退職になりました。在職中は、グリーンライブセンターの心地良い BGM を聞きながら仕事をしてきました。いろいろとご指導をいただきましてありがとうございました。

どうぞこれからもグリーンボランティアの活動を進めていただき、多摩市のみどりの推進にお力添えをお願いいたします。

緑の大切さ

公園緑地課　芦沢　芳美

昭和 49 年に多摩市に入庁、はや 42 年になります。毎年新しい道路ができ街並みが変わる中で多摩中央公園の容姿が少しずつ現れガーデンシティ多摩のイベント事業にも携わりました。時代と共に公園緑地への市民のニーズが変わり、新たな公園の利活用の時代に入ったと感じます。

自然の中の水と緑は、人間にとってとても大切なものと最近改めて感じます。“こころ”こそ大切なもので、健全なこころを養う自然にもっと人間は謙虚に向き合うべきであると思います。登山者は山に謙虚でなければ厳しい報いを受ける経験を私も若い頃経験しました。自然は何も言ってくれません。今私たちは、未来のために緑の大切さをもっと訴えていく使命があると感じます。

種から広がる様々な活動

公園緑地課　浅海　恵

平成２３年１０月から４年半、大変お世話になりました。

学校や管理組合等の団体に向けて、グリーンライブセンターと協力して実施した種から育てる花壇作り講習会は、そこからボランティアの方が生まれたり、種等の交換会を実施したりと小さいながらも実りのある事業を展開することができ、本当にありがどうございました。４月からも、近くの課で仕事していますので、またの機会に皆様お会いできるのを楽しみにしております。

編集後記

「スミレの花　咲く頃♪」春の里山には色とりどりの花を見ることができます。スミレも春の代表選手といえる花だと思いますが、スミレの仲間は変種を含めれば 50 種～70 種にも及ぶと言われ、見分けるのも大変です。

葉や茎に特徴を持つ種類も多いので、控え目に可愛らしく咲いているスミレの花、ひとつひとつの株を観察してみると違いがわると思います。

私が最近出会ったスミレに「ナガバノスミレサイシン」があります。ここ最近、多摩丘陵では個体数を減らしているそうです。山地の湿り気がある日影を好み、太平洋側の雪の少ない山地の落葉樹林下でみられるスミレです。

可愛い草花に出会いたくて春を探しながら歩くことが多いこの頃です。皆さまも春をお楽しみください！

（高澤　愛）

ナガバノスミレサイシン

多摩市グリーンボランティア通信　グリーンサークル 22 号
発行日:2016 年 4 月 15 日
編集・発行責任:多摩市グリーンボランティア連絡会 事務局
〒206-0033 東京都多摩市落合2-35 多摩中央公園
多摩市立グリーンライブセンター内
電話 042-375-8716 FAX 042-375-0087
ホームページ http://www.keisen.ac.jp/tglc/